

市連会1月定例会説明資料
令和8年1月13日
脱炭素・GREEN×EXPO推進局
GREEN×EXPO推進課

GREEN×EXPO 2027 機運醸成の取組について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 チケット概要

- 前売チケット 1日券 大人4,900円、小人1,400円
- 会期中販売チケット 1日券 大人5,500円、小人1,500円

前売チケットは、2026年3月の発売を目指しています。詳細は、2026年春頃に公表される予定です。

また、2027年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027に関する様々な新しい情報について、協会公式Webサイトや公式SNS等で順次発信されます。

※その他の券種と価格については、別添資料参照

脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp



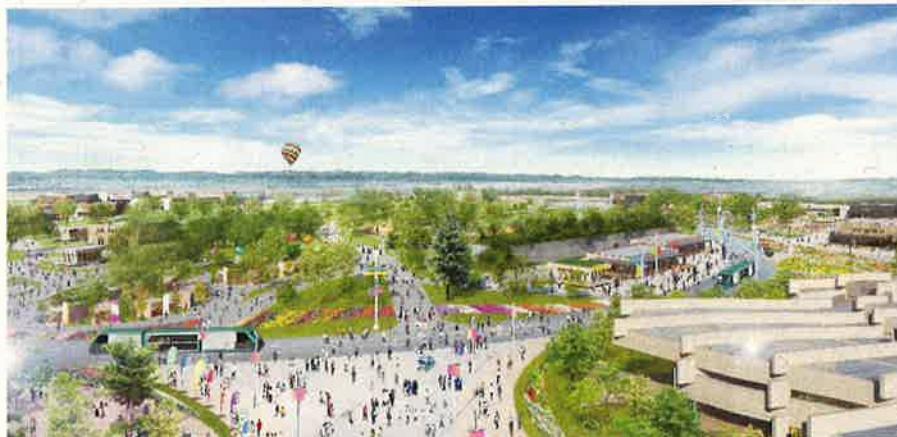
NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年12月5日

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

GREEN × EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会) 入場チケットの券種及び価格について



GREEN × EXPO 2027 会場イメージ

このたび政府の了承を受け、GREEN × EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

前売チケット

1日券 大人4,900円、小人1,400円

会期中販売チケット

1日券 大人5,500円、小人1,500円

前売チケットは、2026年3月の発売を目指しています。詳細は、2026年春頃に公表する予定です。

また、2027年の開催に向けて、GREEN × EXPO 2027に関する様々な新しい情報を協会公式Webサイトや公式SNS等で順次発信して参ります。

入場チケットの券種・価格

- ・会期中いつでも1回入場できる1日券
- ・夜から入場できる夜間券
- ・障がい者手帳をお持ちの方の特別割引券
- ・会期中に何度も入場できる通期パス
- ・夏期間に何度も入場できる夏パス
- ・一般や学校の団体で来場される方のための団体割引券

項目	券種	概要	大人 (満18歳以上)	中人 (満12~17歳)	小人 (満4~11歳)
前売チケット	1日券 (早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円
会期中販売チケット	1日券 (通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円
前売・会期中販売チケット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円
複数回入場パス	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円
	夏パス	夏の決まった期間(7/1~8/31)に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円
団体	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円
				高校生	中学生 小学生・園児
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円

※価格は全て日本円・税込みです。

(紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。)

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。



チケット販売開始時期

- ・2026年3月（予定）

チケット販売方法

- ・2027年国際園芸博覧会公式チケット販売サイトを通じて販売します。また、旅行代理店や各種プレイガイド等のGREEN×EXPO協会が指定する販売事業者による販売も実施予定です。

本件に関するお問い合わせ先

GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会） 機運醸成部 機運醸成課

（担当：太田、中山）

Tel : 045-307-2031

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027; Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスボニーゼロニーナナ)
開 催 場 所	神奈川県横浜市
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日)
テ — マ	幸せを創る明日の風景～Scenery of the Future for Happiness～
博 覧 会 区 域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
参 加 者 数	1500万人（有料来場者数：1,000万人以上）
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」

GREEN×EXPO 2027

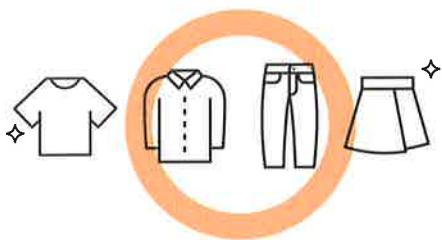
ユニフォームをみんなで作ろう!

不要となった衣類を回収しています!

皆様から回収した衣類をリサイクル技術によりGREEN×EXPO 2027の横浜市出展施設のユニフォーム素材として活用します。

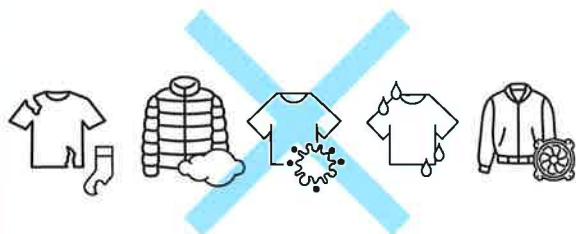
回収できるもの

乾いている衣類
(Tシャツ・シャツ・ボトムなど)で
ポリエステル100%、
綿100%素材のもの



回収できないもの

濡れた服、汚れた服、破れた服、
わたが入っている服、
ファン付作業服



上記の素材以外の衣類についても回収後はリユース・リサイクルに活用します

回収期間

～令和8年3月31日(火)

回収拠点(令和8年1月16日時点、随時拡大予定)

- ・横浜市庁舎・区庁舎・横浜市立図書館
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株) 横浜支店・AOKI市内全店舗
- ・JGC Digital(株)(するーぶ)・日本生命保険相互会社 横浜北支社
- ・無印良品市内一部店舗・横浜国立大学 キャンパス内

回収拠点の
最新情報は
こちらから



お問い合わせ先 右のフォームより、お問い合わせください。

お問い合わせは
こちらから



所管 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

現役マジシャンのマリカ先生と

楽しく学ぼう！環境問題

令和8年

2.18(水) 14:00
～15:30

(開場 13:30)

会場 港北公会堂 講堂

(港北区大豆戸町26-1)

定員 200人 (申込不要、先着順)

内容 第1部

「GREEN×EXPO 2027について」

講師：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

事業部長 中坪 学一 氏

第2部

「楽しく学ぼう！環境問題」

講師：環境インストラクター マリカ先生



マリカ先生



大阪・関西万博のマジックの様子

大阪・関西万博のステージで大盛況の環境講演を行った

「マジックやバルーンアートのプロパフォーマー」が参上！

クイズをしながら、ごみ問題や脱炭素について楽しく学べる講演会。

締めくくりはマジックショーで盛り上がりましょう。

さらに、400日後に開催される「GREEN×EXPO 2027」はどんな博覧会??

気になる最新情報をゲットしましょう！

来場者にはプレゼントがあるよ！



【マリカ先生プロフィール】

桜美林大学国際学部卒業後、マジックやバルーンアートのプロパフォーマーとして活動しながら、環境教育インストラクター等の資格を取得。

現在は、全国各地の企業や自治体のイベント、教育機関等での講演のほか、メディア出演が多数。2025年9月には、大阪・関西万博「フューチャーライフヴィレッジ」のステージに登壇。

主 催：港北区地域振興課／資源循環局港北事務所

問合せ先：港北区地域振興課

電話：045-540-2244 Eメール：ko-shigenka@city.yokohama.lg.jp

詳細は
こちら



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月横浜・上瀬谷



神奈川税務署からのお知らせ

確定申告は会場に並ばずに

マイナンバーカード (注) で自宅から

e-Tax がおすすめです！

イチオシ！

(注) マイナンバーカードと電子証明書の有効期限切れにご注意ください。

メリット たくさん♪ e-Tax!



スマホで
確定申告



申告方法は動画
でもご案内



動画で見る確定申告

さらに！ マイナポータル連携 で

給与、年金、ふるさと納税、医療費等が自動入力できる！

自宅から
申告可能



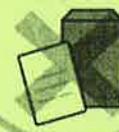
24時間
利用可能



受信通知から
いつでも内容確認



添付書類
提出不要



早期還付
(3週間程度で還付)



※メンテナンス時間を除きます

※一部の書類を除きます
イメージデータによる提出も可能

確定申告会場の開設について

～ご自身のスマホとマイナンバーカードで申告書を作成していただきます～

開設期間	会場	所在地	時間
令和8年 2月16日（月） ～ 3月16日（月） ※ 土、日及び祝日を除きます。（注）	神奈川税務署	港北区 大豆戸町 528-5	【受付】 午前8時30分から午後4時まで 【相談】 午前9時15分から午後5時まで

(注) ただし、3月1日の日曜日は日石横浜ホール（中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル1階）において申告相談を行います。

- 確定申告会場への入場にはオンライン事前予約が必要です。

※ 当日、確定申告会場でも入場整理券を配付しておりますが、長時間お待ちいただけ場合があります。

オンライン事前予約は LINE から！

LINE アプリで国税庁 LINE 公式
アカウントを「友だち追加」して
予約してください。
友だち追加は
こちらから↑



- 税務署の駐車場は台数に限りがありますので、お車での来場はご遠慮ください。
○ 必要な書類等は国税庁 HP 内の「神奈川税務署」案内ページを確認してください。



神奈川税務署
案内ページ

【問合せ先】

〒222-8550 港北区大豆戸町 528-5 TEL 045(544)0141 (代表)

※ 個人課税第1部門（音声案内に従い番号「2」を選択してください。）

掲出希望期限：令和8年3月16日（月）まで

発災時の トイレ問題 について

参加費用
無料

過去に発生した大地震では、水や食料のことだけではなく、トイレのことも課題となりました。自宅の水洗トイレは、断水や下水道管の破損により、突然使えなくなってしまうかもしれません。個人でトイレの備えがないと、「トイレに行きたい」と思った時に、自宅から外に出てトイレを探しに行く必要がありますので、トイレの重要性を学びながら、災害への備えを進めていきましょう。

令和8年2月15日(日)
10:00~11:00(9:30開場)
港北公会堂ホール(港北区大豆戸町26-1)



- 東急東横線「大倉山駅」より
徒歩約7分
- JR横浜線・横浜市営地下鉄
「新横浜駅」より横浜市営バス
川崎鶴見臨港バスで約7分
「港北区総合庁舎前」下車
徒歩約1分

・定員
先着500名様(事前申込制) ※車いすスペースあり

・募集期間
令和8年1月6日(火) 9:00~
2月13日(金) 17:00

※手話通訳を希望される方は、1月22日(木)までにお申込みください。

・お申込み方法
横浜市電子申請・届出システム(先着順)



お申し込みは
こちら



講師
特定非営利活動法人日本トイレ研究所
代表理事 加藤 篤 氏

まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。

横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすびの登録開始について

1 趣旨

自治会町内会をはじめとする市民活動団体が行うイベント情報やボランティア募集情報を一元的に発信できるサイト「横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすび」を令和7年4月にオープンしました。港北区においては、令和8年3月2日より登録受付を開始します。また、登録説明会を3月9日に開催します。

2 自治会町内会の皆様へお願いしたいこと

(1) 地区連合自治会町内会長様

地区連合自治会町内会議で本サイト及び登録説明会について周知をお願いいたします。

周知にあたっては、添付資料をご活用ください。

(2) 単位自治会町内会長様、広報ご担当者様

会の情報発信ツールとして活用をご検討ください。

3 サイトへの登録・操作について

3月2日より、団体登録申請画面から、ご登録いただくことができます。操作に迷われる方は、操作説明会に、ぜひご参加ください。説明会については、添付資料をご確認ください。

【よこむすび操作説明会】

日時 令和8年3月9日（月）14時～15時30分

場所 港北区役所4階 1号会議室

※申込方法ほか詳細については、添付資料をご確認ください。

4 添付資料

(1) よこむすび説明資料

(2) よこむすび操作・登録説明会チラシ

(3) よこむすびチラシ

【担当】

市民局市民協働推進課

担当：宮島・石井 TEL：045-671-4734

Email: sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

港北区地域振興課地域力推進担当

担当：橋本、山田、谷 TEL：045-540-2247

Email: ko-chikara@city.yokohama.lg.jp

登録無料



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

に登録して

自治会町内会の活動紹介やボランティア募集をしてみませんか？

季節の行事など

学生ボランティアなど

NEW 港北区では
3月2日から登録できる
ようになります！

よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

とは？

自治会町内会、NPO、ボランティア団体など（※）、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を
集めたポータルサイトです。

※対象団体：自治会町内会（委嘱委員の活動も登録可能）、区民活動支援センター登
録団体、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・
サポーター等の市民公益活動を行う団体
(令和8年1月現在)



掲載のメリット

メリット①

自治会町内会活動を広く知って
もらうことができます。



メリット②

活動を知ってもらい、参加者が増える
ことで、新たな仲間を増やすキッカケ
になります。



メリット③

活動の実施可否などをリアルタイム
に発信でき、ホームページの代わりに
なります。

荒天時に活動中止の情報も、簡単に
発信可能です。



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

に情報を掲載するには？

区役所確認後、

登録完了メールが届きます。



ステップ①

団体登録申請をします。

よこむすび 団体登録申請

検索

ステップ②

イベント情報や
ボランティア募集情報を
登録・掲載します（隨時更新可能）。

問合せ

横浜市市民局市民協働推進課

電話番号：045-671-4734

メールアドレス：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

港北区地域振興課地域力推進担当

電話番号：045-540-2247

メールアドレス：ko-chikara@city.yokohama.lg.jp



よこむすび

で活動が広がった事例

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



活用している団体からいただいた声

A自治会町内会の事例



夏祭りをイベント掲載したところ、
100人参加者が増えました！



B市民活動団体の事例

団体の仲間が
10人増えました！



C市民活動団体の事例

掲載記事を見た
3名の方から連絡があり、
1名が活動メンバーとなりました



ほかにも…

情報発信の新たなツールになった！



他の区の人にも活動を知ってもらえた

町内会のHPよりも広く周知できる

市のサイトに掲載している
という安心感がある

リアルタイムに情報発信できる

団体のウェブサイトとして
利用できる

デジタルだから伝わることもある！

地域内の現役世代への周知や、地域外の活動団体や学生の目に留まり、
新しい協働や仲間づくりの可能性が広がります



広告などをきっかけに
「よこむすび」につながる



スマホでいつでも見られるから、
学生や忙しい現役世代にも
情報が届けられる





自治会町内会の広報、スマホでもっと簡単・便利に



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

操作・登録説明会

「使ってみたいけど、操作がちょっと不安…」

「どんな機能があるの？」という方、ぜひご参加ください！

説明会では、サイトの主な機能のご紹介から、申請・登録の流れまで、

実際に画面を見ながら一緒に操作していきます。

スマホが苦手な方も大歓迎！お気軽にご参加ください



説明会 概要

日時	3月9日(月) 14:00~15:30	会場	港北区役所4階 1号会議室
対象	自治会町内会、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター、市民活動支援センター登録団体		
費用	参加費・登録費ともに無料		
持ち物	パソコン・スマートフォンなどインターネットに接続可能な端末、筆記用具 ※パソコン、スマートフォンは十分に充電ができているか、ご確認ください。		
申込方法	横浜市電子申請システム（→二次元コード）より申込み 申込期限：3月4日（水） ※ご不明点は、下記問合せ先までご連絡ください。		



よこむすび

こんな方におススメ！



地域のイベントを
もっといろんな人に
知ってもらえないかな？

一緒に活動する
仲間を増やしたい！



情報をスマホで簡単に
発信・更新できたら…

他区会場の説明会もご参加いただけます。
詳細は、二次元コード内でご確認ください。

お問い合わせ 港北区地域振興課

TEL: 045-540-2247 E-mail: ko-chikara@city.yokohama.lg.jp

市民局市民協働推進課 TEL: 045-671-4734 E-mail: sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

つながれば、 まちもじぶんも、 もっと好きになる。

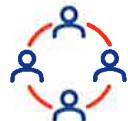


よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



ヨコハマで地域活動に参加して、
新しい仲間と楽しい時間を過ごしませんか？



「よこむすび」は、自治会町内会、NPO 法人、ボランティア団体など、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を集めたポータルサイトです。
市民のみなさんの情報収集の場として、ぜひご活用ください。（※）

（※）発信できる団体には一部制限があります。



横浜地域活動・ボランティア情報サイト よこむすび

検索



横浜市役所

市民局地域活動推進課

TEL : 045-671-2317 FAX : 045-664-0734

Copyright © City of Yokohama. All rights reserved.



よこむすび
横浜地域活動・ボランティア情報サイト



「よこむすび」の由来



ヨコハマのコミュニティをむすぶ、よこの人（隣の人、地域の人）をむすぶ
ウェブサイトになるように、という思いが込められています。



イベントをさがす

横浜市内の活動団体が開催するイベント情報を検索できます。新しい学びや体験、仲間さがしに活用してください。



Event search

イベントをさがす



団体をさがす

横浜市に拠点を置く活動団体を検索できます。興味のある団体が見つかったら、その団体が開催しているイベントやボランティア活動に参加してみましょう。



Organization search

活動団体をさがす



ボランティア募集をさがす

横浜市内を中心とした、ボランティア募集情報を検索できます。エリアや活動分野から、ご自身に合った活動を見つけてください。



Volunteer recruitment search

ボランティア募集をさがす



活動団体紹介

横浜市の市民活動やボランティア活動をより身近に感じていただけるよう、さまざまな団体をインタビュー形式の記事で紹介しています。



Organization introduction

活動団体紹介



お知らせメールの登録方法

新着イベント情報・ボランティア募集情報をメールで受け取れます。



STEP1

メール配信

STEP1

メールアドレス登録

STEP2

メール配信

本登録

登録完了

STEP3

メール配信

令和7年度 市民活動グループ・団体のための

つながる力フェ

第2回 いまだきの若者とつながるコツ



3.14 土
10:00-12:00



アドバイザー
大久保 智弘さん

あおばコミュニティ・テラス チーフコーディネーター

場所 港北区役所4階1号会議室
港北区大豆戸町26-1

参加費 無料

定員 30名（応募多数の場合は抽選）

対象者 地域活動に関わるみなさん
これから活動を始める方も大歓迎！

申込みは
こちらから



締切 3.5 木

結果はメールで通知
3月10日までに届かない
場合はご連絡ください。

主催・お問い合わせ 港北区民活動支援センター

TEL/FAX 045-540-2246

ko-center@city.yokohama.lg.jp



令和7年度港北区医師会 災害対策講座

みんなで備える

災 害 医 療 対 策



■■大災害発生！地域の医療はどうなる？医師会の対策とあなたの「自助力」■■
港北区医師会の災害医療対策事業を紹介し、その経験から感じた「自助による減災対策」の重要性について解説します。

■■大規模災害で必要となるトリアージ■■

巨大災害発生時には災害医療を適応して救護活動を行う必要があります。そこで必要となるのがトリアージの概念です。トリアージは治療優先順位をつけるものと理解されている人が殆どだと考えます。
最大震度7の現場でのトリアージでは治療しないという選択が必要となります。皆さんに災害医療の特殊性をお話させていただきます。

日 時

2026年

2月7日(土)

開場 13:30

開演 14:00

~15:30

一般講演
14:10~14:30

『大災害発生！
地域の医療はどうなる？医師会の対策とあなたの「自助理」』

いしい のぶあき
石井内科医院 院長 石井信朗先生

(港北区医師会災害医療担当常任理事)

基調講演
14:30~15:10

『大規模災害で必要となるトリアージ』

かたやまときとか
たるまちクリニック 院長 片山時孝先生

(港北区医師会副会長)

会 場

港北公会堂 ホール (港北区大豆戸町26-1)

参 加 費

無 料

申 込

不 要
(先着200名)

主催：港北区医師会/共催：神奈川県医師会/後援：港北区

[お問い合わせ]一般社団法人横浜市港北区医師会 事務局

✉ Kohoku-s@kohoku-doctors.com

〒222-0011 横浜市港北区菊名7-8-27

TEL 045(433)2367・FAX 045(433)8911



診療中

横浜市

行政サービスコーナーの一部廃止について【情報提供】

1 趣旨・概要

マイナンバーカードの普及に伴い、住民票などの証明書をコンビニや郵送等で取得する方が増加しています。また、手続の際に住民票などの提出を求められる場面も減少しています。

こうした環境の変化を踏まえ、証明書発行数の少ない一部の行政サービスコーナー（以下、「行政SC」という。）を廃止するとともに、オンライン手続や区役所窓口の待ち時間短縮など、市民の皆様がより便利になる取組を拡充していきます。

2 依頼事項

【区連長】御承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

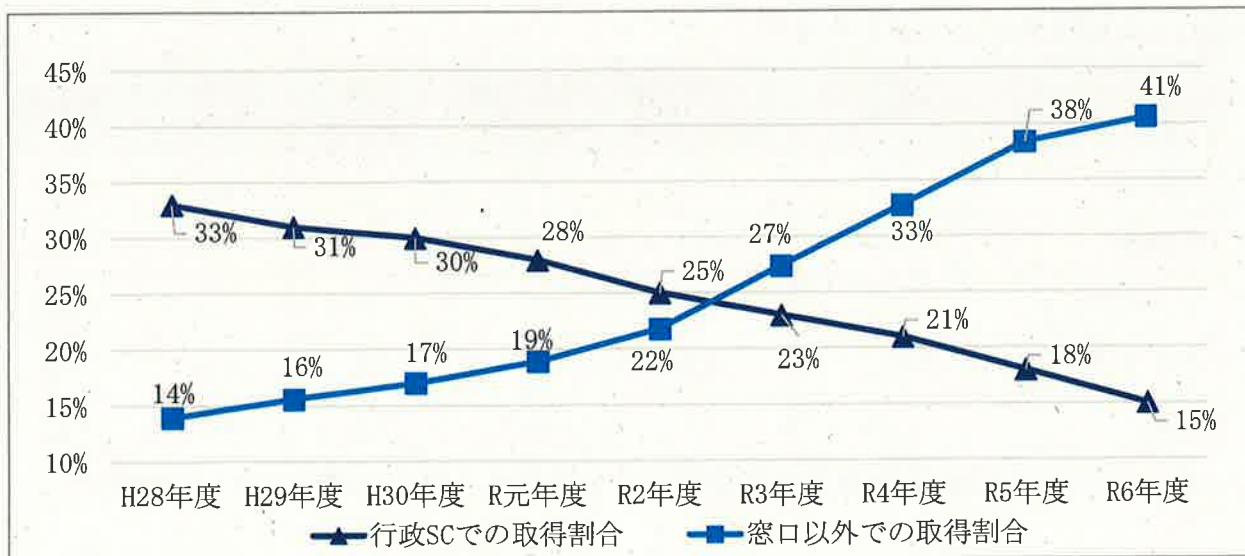
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

※市民の皆様には、各行政サービスコーナーの廃止のタイミングに合わせて、広報よこはまや市のウェブサイトなど様々な媒体を活用し、情報発信してまいります。

3 証明発行の状況

(1) 行政SCと窓口以外（コンビニ・オンライン・郵送）での取得割合

行政SCでの取得割合は、平成28年度の33%から令和6年度には15%へと低下する一方で、コンビニなど窓口以外での取得割合は、平成28年度の14%から令和6年度は41%へと大幅に増加しています。



裏面あり

(2) 行政 SC での証明書取得数の状況（戸籍証明と税証明の取得枚数）

過去 10 年間でおよそ半減しており、今後も減少傾向が続くことが予想されます。

	H27 年度	H28 年度	R 5 年度	R 6 年度	10 年間のピークからの減少率
港南台	68,254	70,105	44,050	38,109	47.0%
新横浜駅	104,022	107,054	60,671	50,425	52.9%
東戸塚駅	99,523	102,511	61,527	52,561	49.3%
二俣川駅	108,295	100,442	66,335	56,359	48.0%
日吉駅	124,386	126,416	68,209	55,145	56.4%
上大岡駅	105,681	115,161	72,628	60,284	49.5%
あざみ野駅	138,345	139,986	79,009	66,549	52.5%
鶴見駅西口	137,742	142,504	83,375	70,244	50.7%
戸塚	221,837	224,433	143,849	124,343	44.6%
横浜駅	264,493	270,873	156,680	128,770	52.5%
合計	1,372,578	1,399,485	836,327	702,789	49.8%

4 廃止箇所・年月日

令和9年3月31日	港南台（港南区）、新横浜駅（港北区）、東戸塚駅（戸塚区）
令和10年3月31日	二俣川駅（旭区）、日吉駅（港北区）、上大岡駅（港南区）
令和11年3月31日	あざみ野駅（青葉区）、鶴見駅西口（鶴見区）

※残る 2 抱点（横浜駅、戸塚）につきましては、今後の状況を踏まえて検討します。

5 証明書の取得方法

行政 SC で取得できる証明書は、区役所、コンビニ、オンライン、郵送により、今後も変わらず取得することができます。

	住民票の写し	住民票記載事項証明書	印鑑登録証明書	戸籍証明書	戸籍の附票	税証明
行政 SC	○	○	○	○	○	○
区役所	○	○	○	○	○	○
コンビニ	○	○	○	○	○	※2
オンライン	○	○	○	○	○	○
郵送	○	○	※1	○	○	○

※1 国の印鑑登録証明事務処理要領により対象外 ※2 実施に向けて調整中

担当 市民局窓口サービス課 木澤、西尾

TEL : 045-671-2177

Email : sh-miryoku@city.yokohama.lg.jp



備えあれば憂いなし

知りたい災害時の感染対策・薬・栄養のこと

と き 2026年2月8日(日)

時 間 10:00~12:30

受付開始 9:30

場 所 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室 (地図は裏面)
(港北区社会福祉協議会 3階) Zoom 併用

講 師 医療法人 五星会 菊名記念病院 感染専従看護師・
災害支援看護師・管理栄養士・薬剤師の皆さん

会場参加 定員 40名 先着順(手話通訳あり)
(Zoom でも聴講いただけます。Zoom の定員はありません
Zoom には手話通訳はありません)

参加費用 無料

申込締切 2026年2月6日(金)

災害発生時、避難生活で感染症や持病の悪化、栄養不足など、健康リスクが高まります。
本セミナーでは、感染専従看護師・災害支援看護師・管理栄養士・薬剤師の方々に
それぞれの専門分野から「命を守る知恵」をわかりやすく伝えていただき、地域の皆さんのが
安心して「その時」に備えられるよう学びあいます。

このセミナーでは こんなことが学べます

- 避難所で感染症にならないための過ごし方
- 災害時の栄養管理方法・非常食について
- 災害時の薬剤管理方法・持病の薬について
- サルビアねっとについて (情報共有システム)

本セミナーでは、菊名記念病院市民公開講座として、篠原地区センター(2025年9月11日)、
菊名コミュニティハウス(同年9月25日)、菊名地区センター(同年10月9日)で開催
された内容を中心にお話しいただきます。

申し込みは google フォーム (下記 URL か二次元コード) から、または裏面 FAX 用紙にて

<https://x.gd/2K6YW>

二次元コードからも申し込み可能です

※会場のほか Zoom での参加も受け付けます

※手話通訳が必要な方は、会場参加をおねがいします (Zoom に手話通訳はありません)

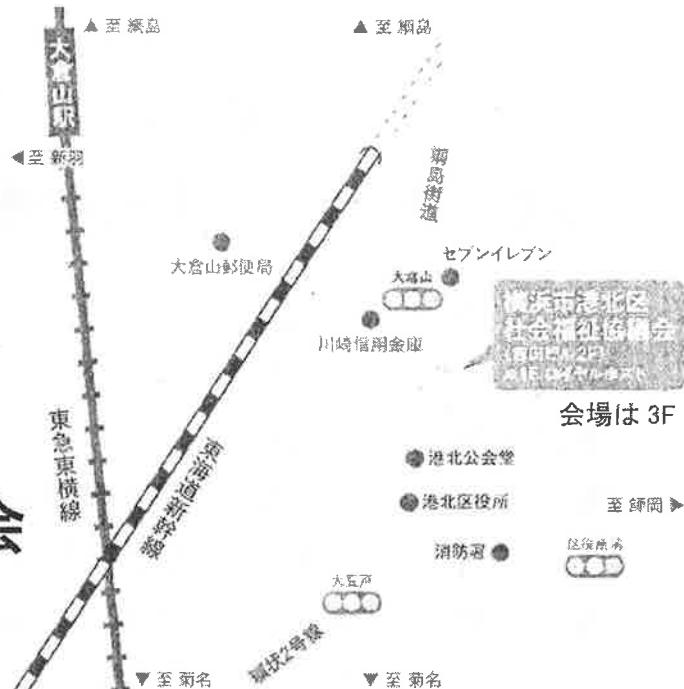
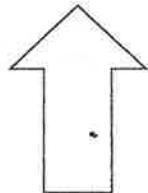
※Zoom 参加の開設情報(URL, ミーティング ID、パスワード)は、お申込みいただいた方に

前日の2月7日(土)までに個別にメールでお知らせいたします

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206 港北区社会福祉協議会

TEL045-547-2324 Fax045-531-9561





港北区社会福祉協議会
(港北区災害ボランティア連絡会
事務局 天倉・矢本 行)

FAX: 531-9561

2026/2/8(日)災害ボランティアセミナー

申込書

申込締切 2026年2月6日(金)

参加者氏名	住所(町名まで 番地は不要)	TEL/FAX番号 Zoom 参加の方は メールアドレス	参加にあたって
			参加方法 会場・Zoom 手話通訳 要・不要 会場での介助 要・不要

★ご記入していただいた個人情報は、港北区災害ボランティア連絡会からの
お知らせ以外には使用いたしません。

FAX 531-9561

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子と横浜市防犯のまちづくり 推進プラン(仮称)素案のパブリックコメント実施について(情報提供)

1 背景・概要

特殊詐欺などの増加による犯罪情勢の変化や、人口減少、少子高齢化の進展といった社会的変化に対応するため、市の責務を明確化し、市民や事業者とともに安心で安全なまちづくりを進めることを目的とする条例を制定します。また、条例の目的達成と実効性を担保し、体系的な防犯施策を推進するための計画づくりを進めています。条例案の骨子及び防犯計画の素案について、皆様の多様な意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。

(1) 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

市の基本理念を示し、市の責務や事業者・市民の役割を明確化するとともに、地域との協働による犯罪抑止と防犯のまちづくりの方向性を定める条例です。

(2) 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案

【期間 2026(令和8)～2029(令和11)年度<第1期>

先端技術の活用による防犯インフラ整備をはじめ、市民、地域、事業者、そして行政が一丸となって、犯罪を防止し、安心で安全なまちづくりを進めていくための、今後4年間の施策を体系化した計画です。

2 お願いしたこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 スケジュール今後の取組予定等

(1) パブリックコメント実施期間

2026年1月9日(金)～2月22日(日)

(2) 主な周知方法

- ・広報よこはま1月号
- ・市HP(防災・救急>防犯>お知らせ)
- ・各区役所 広報相談係
- ・市民情報センターでのチラシ配布

(3) パブリックコメント後のスケジュール

2026年3月：意見公募結果を公表

2026年5月～6月：令和8年第2回市会定例会へ上程

4 参考資料

参考1 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

参考2 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

参考3 チラシ(市民意見募集の実施について)

参考4 意見投稿用紙(郵送・FAX等でご活用ください)

市民局地域防犯支援課
担当 川口
電話 045-671-3705/FAX 045-664-0734
メール sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

名称 「横浜市防犯のまちづくり推進条例」（仮称）

概要 **市の責務並びに事業者及び市民の役割を明らかにし、防犯のまちづくりを推進することを目的とします。**

（※事業者や市民の皆さんに義務を課したり、権利を制限したりする内容ではありません。）

条例案の骨子

目的	横浜市における犯罪の防止に関し、市の責務、事業者及び市民の役割を明らかにすること。防犯のまちづくりを推進するために必要な事項を定め、もって安心で安全な住みよい地域社会の実現を総合的かつ計画的に推進すること など
基本理念	市、事業者及び市民がそれぞれの役割を果たしながら、協働して防犯に取り組むこと など
本市の責務	目的を達成するため、関係機関と連携すること。防犯のまちづくりに関する施策を策定し、実施すること
事業者の役割	事業活動に当たり、犯罪被害防止のための必要な措置を講じること。市の施策に協力するよう努めること
市民の役割	自らの犯罪被害を防止するために必要な措置を講じること。他の市民に犯罪被害が及ばないように留意すること。市の施策に協力するよう努めること
計画の策定	市長は、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、防犯のまちづくりに関する基本的な計画を定めること。計画の策定にあたっては、市民、事業者等の意見を反映できるよう必要な措置を講じること
施策の推進	市長は、データ分析やデジタル技術の活用等に積極的に取り組み、市民、事業者等の意識の啓発を推進し、相互に連携と協力を図るよう努めること など

横浜市防犯のまちづくり推進条例 及びプラン(仮称)案について、 皆さんのご意見を募集します！

意見募集期間：令和8年1月9日(金)～2月22日(日)



あなたの声が“安心・安全なまち”
よこはまを作ります！

横浜市市民局
地域防犯支援課

住 所：神奈川県横浜市中区本町
6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階
電 話：045-671-3705
メール：sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp

詳細は
こちら！



横浜市防犯のまちづくり推進条例及びプラン(仮称)案 について市民の皆様からご意見を募集します！

(パブリックコメント)意見募集期間：令和8年1月9日(金)～令和8年2月22日(日)

1 経緯

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、“自分たちのまちは自分たちで守る”という自主防犯力の強化を掲げ、地域と行政の連携による防犯対策を推進してきました。

しかし近年、犯罪の手口は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。さらに、少子高齢化や地域のつながりの希薄化などにより、防犯活動の担い手確保が困難となっています。こうした今日的な課題に対応するため、市の責務を明確化した防犯条例を制定し、体系的な防犯対策を進める新たな防犯計画を策定します。つきましては、本案に対する市民意見（パブリックコメント）を募集します。ぜひ皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

2 資料の公表方法

本意見募集の内容及び資料は、次の本市ウェブサイト（右の二次元コードを読み込み）に掲載します。併せて、各区役所 広報相談係、市民情報センター（市庁舎3階）及び担当窓口（連絡先等は本ページ末尾を参照）にて、令和8年1月9日(金)から2月20日(金)まで資料を配布・配架します。



(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bohan/oshirase1/test.html>

3 意見の提出方法

(1) 募集期間

令和8年1月9日（金）～令和8年2月22日（日）（必着。郵送の場合は左記の期間内の消印有効。）

(2) 提出方法

次の①から④のいずれかの方法により意見を提出してください。なお、電話での意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

①オンライン入力フォーム

右の二次元コードを読み込み、本市の電子申請・届出システムから提出してください。

②電子メール

意見投稿様式（上記2の本市ウェブサイトからダウンロード）に、意見を入力のうえ、次の電子メールアドレスに送信してください。

電子メールアドレス：sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp



③郵送又は持参

意見投稿様式に意見を記入のうえ、担当窓口（本ページ下段）まで郵送又は持参いただき、提出してください。（持参される場合は、平日8:45～12:00、13:00～17:15にお越しください。）

④ファクシミリ(FAX)

別添の意見投稿様式に意見を記入のうえ、次のFAX番号に送信してください。

FAX番号：045-664-0734

(3) 留意事項（次の事項を予め承知ください。）

- ・意見への個別の回答はいたしません。
- ・お寄せいただいた意見は、本件の目的のみに使用し、意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い適正に管理し、意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用させていただきます。

4 今後のスケジュール

今回の意見募集に提出いただいた意見とそれに対する本市の考えは、上記2の資料の公表方法と同様に、本市ウェブサイト、各区役所区政推進課等にて令和8年3月ごろの公表を予定しています。市民の皆様からの意見を踏まえて更に検討を進め、令和8年5月ごろの市会に条例を議案として上程、計画(プラン)原案を策定する予定です。

◆担当窓口（意見提出先／問合せ先）

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階

横浜市 市民局 地域防犯支援課

電話：045-671-3705（平日8:45～17:15）Email：sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp

意見投稿用紙

令和 年 月 日

市民局地域防犯支援課 宛て

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子、横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案について、以下のとおり意見を提出します。

(別紙に記載する場合は「別紙に記載」と明記し、意見を記載した別紙を添付してください。)

ご意見を記入される方について（該当する項目にチェックをつけてください。）

【居住】 青葉区、 旭区、 泉区、 磯子区、 神奈川区、 金沢区、 港南区
 港北区、 栄区、 濱谷区、 都筑区、 鶴見区、 戸塚区、 中区、 西区
 保土ヶ谷区、 緑区、 南区、 横浜市外

【性別】 女性 男性 回答しない

【年代】 20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60～69歳
 70歳以上

意見の内容 ※条例、プラン(ビジョン1～3等)についてご意見願います。

- ※1：法人又は団体にあっては、その名称並びに代表者の肩書及び氏名を記載してください。
- ※2：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、別紙に記載する場合は、ページ番号を明記してください。
- ※3：御提出いただいたご意見の結果は、後日公表させていただきます。
- ※4：ご意見を正確に把握する必要があるため、電話による御意見はお受けしていません。また、御提出いただいたご意見に対する個別の回答はいたしかねます。あらかじめ御了承ください。
- ※5：御提出いただいたご意見は、個人情報の保護に関する法律に則り、適正に管理し、御意見の内容に不明な点があった場合の連絡・確認といった、本案に対する意見募集に関する業務にのみ利用させていただきます。
- ※6：電子メール、郵送又は市民局地域防犯支援課への持参、ファクシミリ(FAX)にてご提出ください。
- 【送付先】市民局 地域防犯支援課
〒231-0005 横浜市中区本町6 丁目50 番地10 12 階
FAX: 045-664-0734
電子メール: sh-anshinanzen@city.yokohama.lg.jp

総合的な取組

14の政策群と33の施策群

政策群	目指す姿	施策群
1 毎日の安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯対策の強化が進み、地域防犯力が向上し、犯罪が発生しにくい、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●交通安全対策が進み、こどもから大人まで安心して出かけられる環境が整っています。 ●計画的かつ効果的な老朽化対策・保全更新が進み、市民生活に欠かせないインフラ施設を誰もが安心して利用できる環境が整っています。 	施策群1 防犯・歩行者の安心・安全
2 防災・減災 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震防災戦略に基づき、自助・共助・公助の取組が一体的に進み、大規模地震に対して十分な備えができます。 ●風水害のリスクに対し、ハード・ソフト両面の対策が進み、市民の命と財産を守る十分な備えができます。 	施策群2 インフラ施設の安全確保
3 医療・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、こどもから高齢者まで誰もが適切な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活することができます。 ●各種がん検診の受診者数の増加により、早期発見・早期治療を進め、がんと診断された方が、適切な医療を受け、安心して生活できる環境が実現しています。 ●増加が見込まれる救急需要に対し、安定的な救急体制が確保できています。 ●市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりを通じて、市民の皆様が健やかな生活を送ることができます。 	施策群3 地震防災対策
4 こども・子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ●全てのこどもを社会全体で支えることで、未来を創ることも一人ひとりが自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会を創り出していく力が育まれています。 ●こどもたちが、様々な遊びや学び、体験機会に接することで、自己肯定感を高められる環境が整っています。 ●誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕をもってこどもに向き合うことができています。 	施策群4 医療・急救・保健
5 教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校全員給食を通じた食育の推進や学校施設の老朽化対策・快適性の向上など、誰もが安心して学べる環境を整えることで、より良い教育環境につながっています。 ●グローバルに活躍する児童生徒の育成に向けた、プログラムの充実・支援の仕組みが整っており、こどもたちの能力や意欲向上につながっています。 ●ICT活用指導力をはじめ、教職員自らが学び続ける姿勢で臨み、指導力が向上されることで、児童生徒の成長が図られています。 	施策群6 子育て支援 施策群7 保育・幼児教育 施策群8 こどもの体験機会づくりと居場所の充実 施策群9 困難な状況にあるこども・家庭への支援
		施策群10 教育環境の整備(ソフト・ハード) 施策群11 安心して生活できる学びの環境づくり 施策群12 学力の向上 施策群13 教職員

政策群	目指す姿	施策群	政策群	目指す姿	施策群
6 高齢・長寿 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の活躍・社会参画の機会が充実し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、つながり・支えあう地域づくりを進めます。 ●見守りの取組や地域での支え合いを推進し、住み慣れた地域で自らの意思で自分らしく暮らすことができています。 ●新たな担い手の参入促進、定着支援等を通じた人材確保や、DXを通じた業務改善などの働き方改革により、介護需要に対するサービスを持続的に提供することができています。 ●必要な施設・住まいの整備や、相談体制の充実を通じて、日常生活に支援や手助けが必要になっても、一人ひとりの状況に応じたサービスの選択が可能となっています。 	施策群14 高齢者支援 	11 産業 	<ul style="list-style-type: none"> ●戦略的な企業誘致により、市内への産業や機能の集積が進み、成長分野をはじめとして新たな雇用の創出や事業機会の拡大など、市内経済の持続的発展につながっています。 ●スタートアップの創出・成長・立地により、雇用者数の増加や市内企業との協業が進み、市内経済の活性化につながっています。 ●中小・小規模事業者の経営基盤が強化されることで、事業継続や雇用維持が実現され、横浜経済の成長や活性化につながっています。 ●グローバルサプライチェーンを支える国際基幹航路を維持・拡大し、横浜港の国際競争力の強化を推進すると共に、企業・物流拠点の立地促進を図り地域の新たな活性化の拠点が形成されています。 	施策群24 経済成長 施策群25 地域産業
7 障害児・者 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害児・者やその家族への支援を行うと共に、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●DX技術等の活用による体験機会・就労機会の拡充を通じて、自分らしさを發揮し、いきいきと生活ができます。 	施策群15 障害児・者支援 	12 まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●都心部・臨海部では、世界に誇る水際線をはじめとする魅力が更に磨き上げられると共に、適正な土地利用誘導を通じて、都心臨海部や新横浜都心における業務・商業機能の集積や、京浜臨海部における産業機能の高度化が進み、より多くの人々や企業を惹きつけるまちが形成されています。 ●郊外部では、鉄道駅周辺や住宅地等において、これまで以上に土地のポテンシャルが引き出され、地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくりが進められています。また、上瀬谷地区においては、GREEN×EXPO 2027開催後のまちづくりが進められています。 	施策群26 都心部・臨海部のまちづくり 施策群27 郊外部のまちづくり
8 暮らし・コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で、共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちが実現しています。 ●地域コミュニティが主体となって取り組む地域課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決に向けた活動が継続すると共に、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体と連携する「協働による地域づくり」がより一層推進されています。 ●快適な環境の中で、誰もが一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができます。 	施策群16 地域の生活環境 施策群17 学び・交流を支える地域の情報拠点 施策群18 多文化共生 施策群19 困難を抱えた人の支援 	13 環境との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な脱炭素関連施策の展開により、市民・企業の環境意識の高まりを通じて脱炭素の取組が推進され、ハーフカーボンの達成が確実なものとなっています。 ●GREEN×EXPO 2027の取組を通じて、ネイチャーベースドソリューションやサーキュラーエコノミーの考え方方が浸透し、市民や事業者の皆様の行動変容につながるなど、新たなグリーン社会の実現に向けた具体的な環境行動が広がっています。 ●横浜らしいサーキュラーエコノミー施策が展開された結果、環境への影響を考慮して行動する市民が増えていると共に、市内産業の発展・育成につながっています。また、アジアを代表するグリーンシティとして、世界の環境政策、都市政策を先導しています。 	施策群28 カーボンニュートラル 施策群29 GREEN×EXPO 2027 施策群30 循環型社会に向けた取組
9 交通 	<ul style="list-style-type: none"> ●市域全体で地域公共交通が充実していると共に、快適に移動できる自転車・歩行者空間と、身近な移動手段が確保され、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちを実現しています。 ●まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築や渋滞対策が進むことで、移動の利便性が高まり、市民生活や企業活動が活性化しています。 	施策群20 市民の移動手段の確保 	14 みどり 	<ul style="list-style-type: none"> ●「公園のまちヨコハマ」の推進や動物園のリニューアルによる魅力向上を進めることで、こどもを中心に多様な体験の場が創出されると共に、都市ブランド力の向上につながっています。 ●身近に農を実感できる機会が増えることにより、市民の皆様の豊かで潤いのある暮らしが実現しています。また、循環肥料の市内農地での活用など、都市と農地が近接している横浜市の特徴を生かした取組が進められています。 ●大気や水、土壤などの生活環境の保全に加え、樹林地や河川、海などの自然環境が保全されると共に、市街地でのみどりの創出が進み、市民の皆様が水辺やみどりを感じられています。 	施策群31 公園・動物園 施策群32 都市農業 施策群33 みどりの保全と創出
10 にぎわい・スポーツ・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターフロントを生かしたアーバンリゾートの魅力向上により、国内外から観光客を呼び込み、消費の拡大により地域経済が活性化され、活力・魅力のあるまちとなっています。 ●年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず、市内の各地域で隔たりなく、誰もが、スポーツや文化活動に参加できる機会や楽しめる環境が充実し、また、それらを通じて共に認め、支えあうコミュニティが実現することで、市民が生活の質の向上を実感できています。 	施策群21 観光・MICE 施策群22 スポーツ 施策群23 文化芸術 	<p>「横浜市中期計画2026～2029(素案)」の詳細はホームページをご覧ください</p> <p>横浜市中期計画2026～2029 素案 </p>		

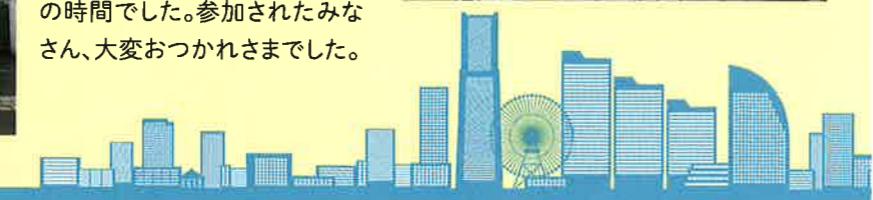
横浜マラソン2025

樽町地区スポーツ推進委員 岡本 悅子

10月26日(日)みなとみらい地区にて開催された「横浜マラソン2025」に参加してきました。あいにくの雨と肌寒い中、5時30分に集合しクイーンズスクエア前に到着、各地区担当の配置につきました。



港北区の担当は「スタート前給水」と「スタート前トイレ誘導」です。私は、トイレ誘導の担当でした。最初は数名程度の利用ランナーでスムーズに誘導できていましたが、時間が経つにつれて利用者が増え、並び列があふれました。進みが早い列への案内、女性専用トイレの声掛け等、アナウンスが大事だと感じました。最後のランナーを送り出し、ゴミ拾いをして終了、解散となりました。声をだしていたせいか、それ程寒さは感じず、あっという間の時間でした。参加されたみなさん、大変おつかれさまでした。



開催日 11月8日(土)
会場 横浜アリーナ
スボ進動員数 12人

2025 ふるさと港北 ふれあいまつり

大倉山地区スポーツ推進委員 会長 香田 康裕

11月8日(土)に横浜アリーナでふるさと港北ふれあいまつりが行われました。



港北区スポーツ推進委員連絡協議会ではスポーツ体験・遊びゾーンにてブース出展をしてボッチャ体験を主催しました。親子連れや子どもたちのグループなど多くの参加者がミニゲーム形式でボッチャを楽しみました。初めての体験の方も多く何度もチャレンジする人の順番待ちの列が途切れることなく終了時間を迎えるました。



第83号
港北区スポーツ推進委員連絡協議会広報紙

活き生きスボ進 KOHOKU

令和8年1月発行
●発行者・編集
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
●事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245

第35期港北区 スポーツ推進委員 新任者研修会

大倉山地区スポーツ推進委員会長 香田 康裕

6月8日(日)港北区役所にて2年に1回開催される新任者研修会が行われました。13地区の会長が講師となり、室内でグラウンドゴルフとペタンクのルール研修や実際にゲームを行って審判技術などの研修を行いました。また新任者以外にもルールを改めて学びたいとのことで参加した現職の委員もいらっしゃいました。

研修会後にはユニフォームのジャージやポロシャツを配布し、ここから本格的に地域でのスポーツ推進委員としての活動がスタートしました。



地区ごとの港北区スポーツ推進委員の人数一覧 ※新任者研修会開催時点

地区	日吉	綱島	大曾根	樽町	菊名	師岡	大倉山	篠原	城郷	新羽	新吉田	あすなろ	高田	計
新任者数	2	1	6	—	2	1	—	3	4	5	4	7	2	37
委員数(新任者含む)	20	16	13	10	9	6	12	16	15	12	12	10	10	161

令和7年度 横浜北部5区 交流会

大曾根地区スポーツ推進委員 福井 美香

※北部5区とは港北、神奈川、緑、青葉、都筑の5区になります。

北部5区交流会に参加させていただき、各地域のスポーツ推進委員の方とランダムでチームを作りボッチャを試合形式で行いました。

普段から他の地域の委員の方と関わることがないので、和気あいあいと楽しくプレーすることができ、チームのみなさんのお陰で、準優勝することができ、良い体験となりました。



開催日	7月6日(日)
会場	横浜国際プール
スポ進動員数	22人

令和7年度 小学生スポーツフェスティバル

新羽地区スポーツ推進委員 菅沼 恵美

7月27日、港北スポーツセンターにて「小学生スポーツフェスティバル」が開催されました。ユニホックやボッチャ、タグラグビーなど初めての競技に挑戦する子どもたちを、委員が一人ひとり丁寧にサポート。緊張も次第にはぐれ、笑顔で体を動かす姿が印象的でした。保護者の熱心な応援も光り、地域の子どもたちの成長とスポーツ振興につながる貴重な機会となりました。



開催日	7月27日(日)
会場	横浜市港北スポーツセンター
スポ進動員数	31人

2025ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会

日吉地区スポーツ推進委員 板垣 昭宏

開催日	5月17日(土)・18日(日)
会場	山下公園周辺特設会場(山下公園スタート・フィニッシュ)
スポ進動員数	17人(5月18日(日)のみ)

私たちスポーツ推進委員は、5月18日(日)に開催されたエイジグループ(一般参加部門)の運営に従事するため、早朝から山下ふ頭に集合しました。警察による交通規制が進められる中、バイク競技のコースを設営しました。レース中は沿道整理を行いつつ目の前を颯爽と駆け抜けていく選手たちに拍手と声援を送りました。このような世界的トライアスロン大会に、ささやかながらも関わることができ、大変貴重な経験となりました。



2025横浜八景島トライアスロンフェスティバル

新吉田あすなろ地区スポーツ推進委員 土屋 晃子

開催日	9月28日(日)
会場	横浜・八景島シーパラダイス、LINKAI金沢臨海部産業団地周辺
スポ進動員数	8人

私は今回初めて運営スタッフとして参加しました。私の担当は、コースの設営や安全のための観客誘導など。夏の暑さが残る中での作業で不安もありましたが、区役所の方や他のスポーツ推進委員の方々の真摯な姿に自然と前向きな気持ちで取り組むことができました。競技の途中、走り抜ける選手から「ありがとう!」と声をかけてもらいました。過酷なレースの中にも関わらず感謝の言葉をかけてくれたことに胸が熱くなり、スポーツが持つ力と

